

厚生労働省北海道労働局発表
平成27年9月24日

【担当】

北海道労働局労働基準部安全課
安全課長 山谷 幸雄
主任安全専門官 大森 聡
安全専門官 渡邊 哲也
電話：011-709-2311 (内 3557・3551)
F A X : 011-756-0056

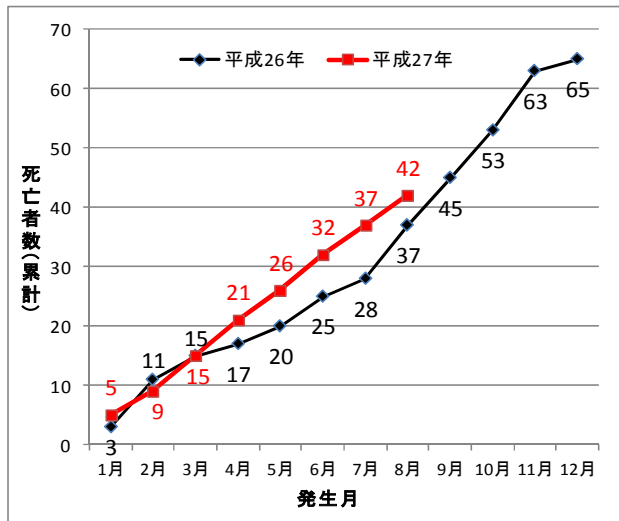
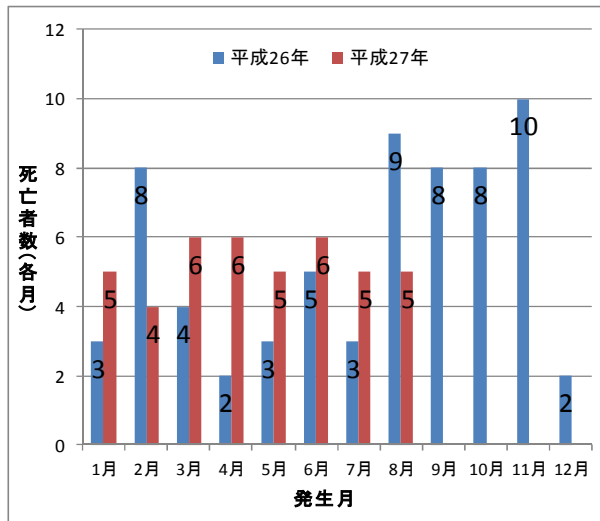
死亡労働災害は前年同期比5人増加

死傷労働災害は前年同期比1.3%減少

— 北海道内の労働災害発生状況（平成27年8月末現在速報値） —

1 労働災害による死亡者数（1月～8月）

道内の労働災害による死亡者数は、平成27年8月末現在で42人と、前年同期と比べ5人の増加となっています。



（1）業種別の状況【資料3、4】

業種別に見ると、「建設業」が19人（全体の45.2%、前年同期比7人増）と最も多く、「陸上貨物運送事業」、「卸売業又は小売業」が各4人（各全体の9.5%、「陸上貨物運送事業」は前年同期比1人増、「卸売業又は小売業」は前年同期比2人減）、「製造業」、「林業」が各2人（各全体の4.8%、「製造業」は前年同期と同数、「林業」は前年同期比1人減）、「港湾運送業」が1人の順となっています。

（2）事故の型別の状況【資料5】

災害を事故の型別で見ると、「墜落・転落」が12人（全体の28.6%）と最も多く、次いで、「交通事故（道路）」が7人（全体の16.7%）、「はさまれ・巻き込まれ」が6人（全体の14.3%）と続き、この3種類の災害で全体の59.5%を占めています。

2 労働災害による死傷者数（1月～8月）

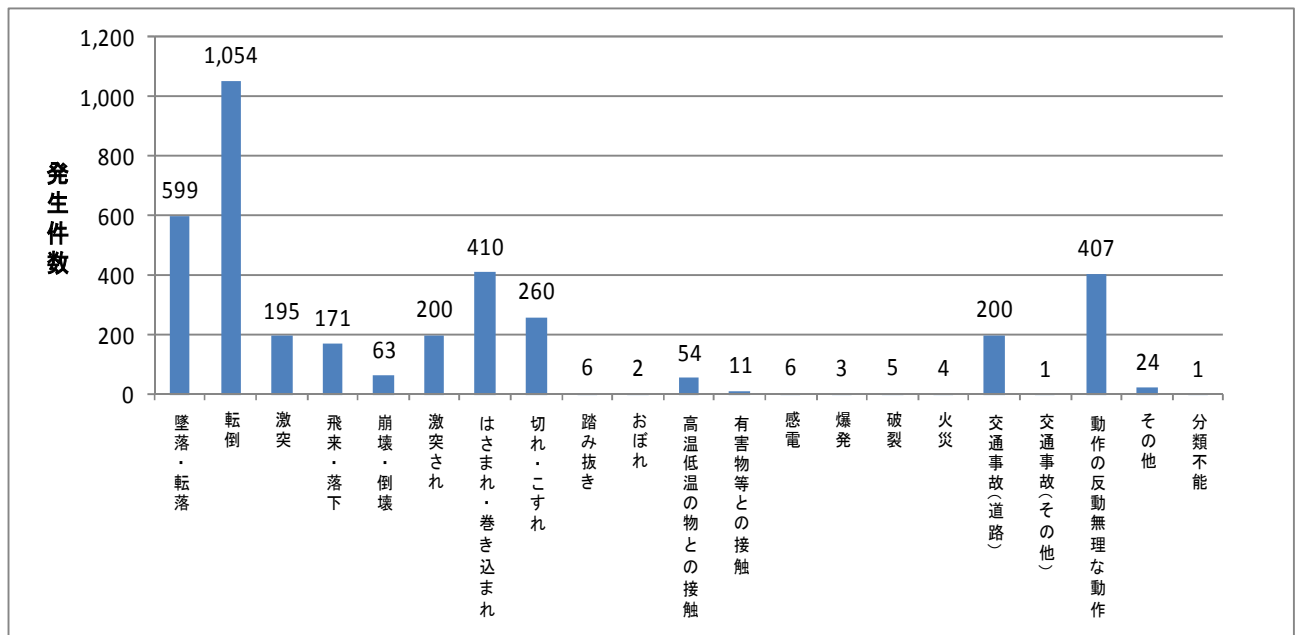
道内の労働災害による休業4日以上死傷者数は、平成27年8月末現在で、3,676人と、前年同期比48人減（1.3%減）となっています。

（1）業種別の状況【資料1、2】

業種別に見ると、「製造業」が676人（全体の18.4%、前年同期比45人増）と最も多く、次いで「商業」が541人（全体の14.7%、前年同期比10人減）、「建設業」が532人（全体の14.5%、前年比19人減）、「陸上貨物運送事業」（道路貨物運送業及び陸上貨物取扱業）が446人（全体の12.1%、前年同期比56人減）の順となっています。

（2）事故の型別の状況

災害を事故の型別で見ると、「転倒」が1,054人（全体の28.7%）と最も多く、次いで「墜落・転落」が599人（全体の16.3%）、「はさまれ、巻き込まれ」が410人（全体の11.2%）、「動作の反動・無理な動作」が407人（全体の11.1%）となっています。



3 北海道労働局の対応

北海道労働局では、建設業における死亡労働災害に歯止めをかけるため、10月1日から12月31日まで、「建設工事追い込み期労働災害防止運動」（別添リーフレット）の取組みを展開します。（別途広報予定）

【添付資料】

- 1 業種別労働災害発生状況
- 2 署別・業種別災害発生状況
- 3 平成27年における死亡災害発生状況[速報]
- 4 平成27年における死亡災害発生状況（その他の事業の内訳）
- 5 平成27年 業種別・事故の型別・起因物別死亡災害発生状況
- 6 死亡労働災害の概要（前月把握分）

（リーフレット）

「建設工事追い込み期労働災害防止運動」